



2023年度第2回地域・まちづくり委員会 を開催しました。

8月7日（月）に2023年度第2回地域・まちづくり委員会を開催しました。

新しい委員メンバーとなつての委員会となるため、はじめに、生協連の尼崎専務理事より、地域・まちづくり委員会の趣旨についての説明があり、その後、出席委員による自己紹介をおこないました。



県連会議室の参加者のようす

委員会ではパルシステム千葉・コープみらい・生活クラブの3生協がおこなっている地域活動支援の一つである助成金について説明をしてもらいました。

○「パルシステム千葉コミュニティ活動助成金」（パルシステム千葉） この助成金は2001年から多くの地域活動団体に助成をおこなっています。公募から選考、助成金の交付、活動報告までの流れや、助成対象分野、助成金額などについて、基金の規則に基づいて運営しています。

○「コープみらい 暮らしと地域づくり助成」（コープみらい） 多岐にわたる分野での活動支援で千葉県内では53団体の応募があり、選考の結果14団体に助成をおこなっています。先日2020年度～2022年度の助成団体と組合員とのオンライン交流会を開催し、分散会ではエリアごとに情報交流などをおこないました。

○「子ども・子育て支援助成」（コープみらい） 生活困難家庭の子ども、子育て支援を目的に中央共同募金会との共同助成として実施。組合員から回収した未使用ハガキや切手からの資金を原資としています。

○エコロ福祉助成（生活クラブ千葉） 毎月組合員から集めた100円のうち20円をエコロ福祉基金として共同の力で暮らしやすい地域づくりのために使用しています。本助成は、1次審査会、組合員の意見を反映した組合員投票、公開プレゼンテーションなどを経て助成団体を決定します。助成後には組合員が団体を訪問し、活動状況を組合員に発信しています。

このほか日本生協連からも助成金の案内がありました。

参加者からは、「応募団体の申請書記入のフォローは？」「選考に漏れた団体との関係性づくりは？」「助成を通じて地域とのつながりがある？」「団体間の連携などにつながった事例はあるか？」などの質問や、「交流会の開催はいいと思った」「組合員投票で意見が反映されるのはすごい」などの意見がでまし

た。